

PFOS 含有泡消火薬剤の 廃絶にご協力ください！

当工業会は、世界的なPFOS規制の流れを受け、
PFOS 含有泡消火薬剤の廃絶に取り組めます！

PFOS 含有泡消火薬剤は、2010年に化審法の規制を受けてから
10年以上が経ち、現在は製造中止となっています。また、規制を受
ける前に販売設置された PFOS 含有泡消火薬剤についても交換推
奨年数を超えております。

これまでは、完全交換までの猶予措置として、PFOS 含有泡消火
薬剤と新しい泡消火薬剤の混合使用に関する取り組みを行ってまい
りました。

今後は、PFOS 含有泡消火薬剤の廃絶に向け、新しい泡消火薬剤
への完全交換を強く推奨してまいりますので、皆さまのご理解とご
協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いたします。

尚、PFOS非含有泡消火薬剤への交換方法については、当工業
会会員会社へご相談ください。

発行：2023年1月27日



一般
社団法人

日本消火装置工業会

Japan Fire Extinguishing Systems Manufacturers Association, General Incorporated Association

**PFOS含有泡消火薬剤
管理台帳 登録済証**

管理番号	02110
------	-------

このシールは、PFOS含有泡消火薬剤管理台帳に登録されたことを示すものです。

- ・PFOS非含有泡消火薬剤への交換を推奨します。
- ・PFOS非含有泡消火薬剤に交換する場合は、管理台帳の更新が必要です。
- ・交換後は、交換済証を発行しますので速やかに貼付して下さい。

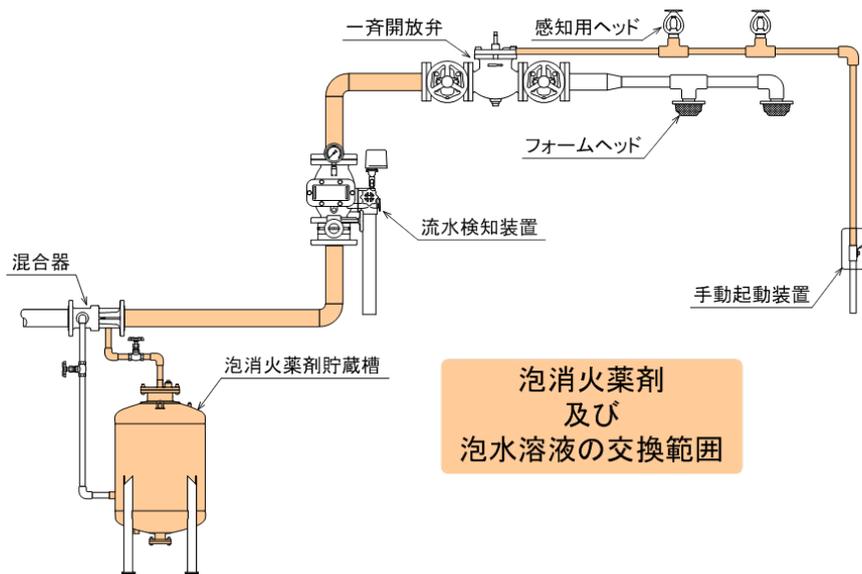
(社)日本消火装置工業会
14001

水成膜泡消火薬剤の混合について

水成膜泡消火薬剤は国家検定品であり、混合して使用することは認められていませんが、以下の泡消火薬剤に限り、当初貯蔵していた泡消火薬剤に混合した場合の性能が確認されています。

注意	以下に示す泡消火薬剤以外を補充（混合）してはいけません。		
補充（混合）できる泡消火薬剤	製造者名	〇〇〇株式会社	
	商品名	△△△△△△△△	
	型式番号	泡第□□～□□号	
最初に補充（混合）した年月日		年	月 日

↑ ↑ 交換推奨の泡消火薬剤は、泡消火薬剤貯蔵槽（タンク）にこれらの表示があります ↑ ↑



泡消火薬剤
及び
泡溶液の交換範囲

泡消火薬剤 及び 泡溶液の交換範囲

特に交換を推奨する泡消火薬剤（PFOS含有泡消火薬剤、噴霧消火剤のうち混合使用されているもの）

No	泡薬剤の型式番号	製造者名	商品名	型式
1	泡第 51～7 号	住友スリーエム(株)	ライトウォーター FC-3031	水成膜泡 6%(-5℃～+30℃)
2	泡第 53～5 号	住友スリーエム(株)	ライトウォーター FC-3033	水成膜泡 3%(-5℃～+30℃)
3	泡第 1～6 号	DIC(株)	メガフォーム F-623	水成膜泡 3%(-10℃～+30℃)
4	泡第 10～1 号	ヤマトプロテック(株)	アルファフォーム 310	水成膜泡 3%(-10℃～+30℃)
5	泡第 15～4 号	ヤマトエンジニアリング(株)	CF フォーム 310	水成膜泡 3%(-10℃～+30℃)
6	鑑特第 116 号	能美防災(株)	NCA211	噴霧消火剤 2%(-10℃～+30℃)

一般社団法人 日本消火装置工業会
 電話：03-5404-2181（代表） FAX：03-5404-7371
 E-mail：shou-sou@shosoko.or.jp URL：<http://www.shosoko.or.jp/>

お問合せ先：
 当工業会会員名簿 URL <http://shosoko.or.jp/profile/member.html>



「しょうすけ(しょうすけ君)」
消火装置工業会 キャラクター